

## 豊かな地域療育を考える連絡会 報告とお知らせ



第196回定例会を12月15日(木)に年間予定通り実施しました。Zoomによるオンラインで参加者は31名でした。部会は参加者の総意で中止し、全体会を続行、意見交流をしました。

### 1. 子ども権利日フォーラムについて(その2)

○ 事前に100名の方から参加申し込みがあったが、当日の参加者50名、そのうちアンケートの回答は24名から寄せられた。

設問 「印象に残った言葉や内容」について

・「ほぼ保護者が、ワーカーその他全ての役割を行っているのがつらい」とか「同じように家では頑張っているけどもうまくいかずつらい」など講師であるでん虫の栗原さんの言葉に同調した言葉が多かった。

設問 「来年度のフォーラムに取り上げてもらいたい

テーマ」について

- ・自分の子どもが今後どんな流れで進んでいくのか。
- ・思春期の子どもについて。など

親が将来の見通し、今後のことについて不安をもっている印象。

○ 企画運営をしたフォーラム担当の事務局の人の熱意と準備で良いフォーラムが出来た。個々に参加された人はいろいろな感想を持っていると思うので後でも事務局に寄せていただけるとありがたい。

### 2. 部会報告(11月実施)

○ 発表していない部会報告が3ヶ月ぐらい溜まっている。今回は前月の報告を中心に行う。

#### ① 学校部会

学校部会は先生同士の交流はできているが、学校の中の問題は記録に残すのは難しい。わになろう会の進路学習会の内容を学んだ。参加者が少なければ他の部会に参加して話を聞くことも有益。

#### ② 幼児小学生部会

・小学生が置かれている状況、置かれている課題、学校の先生の話。学校の先生が替わると子どもたちの様子が変わってくる。先生の力量や障害に対する理解が大きく関わってくる。ただ学校の先生を批判しても仕方がなく、学校の先生たちも困っている。

・学校での授業について。

#### ③ 医療的ケア部会

・参加者5名。

・公立保育園の看護師から交流保育の申し込みが来ます、との情報。

・第3回川崎市小児在宅医療実技講習会(web)で家庭支援について発表。

・第4回川崎市医療的ケア児連絡調整会議(年2回)

・医ケアの会議では今年の4月、はじめて。北部が中心。南部の支援拠点小島さん、北部の拠点の小松さんが今後参加。支援法が出来て制度がめまぐるしくかわっているところなので北部と南部に分かれて

拠点を中心にした。医療的ケアに関わっている先生方、ぜひ参加して欲しい。送迎などについて県立の学校と話しがしたい。

#### ④ 保護者部会

・全体会で出たショートステイの話題。実際利用した保護者の意見。周りの環境によって、メンバーにうるさい人がいると子どもがそれで寝れなかった。それで終わった後帰って来て荒れてしまった。本人の勉強に通っているの、ショートステイの場合、環境に配慮してほしい。

・定例会がずっとZoomで実施されている。Zoomでは限界で質問も聞きづらい。顔を合わせてグループディスカッションの方が有意義では。

#### ⑤ 放デイ部会

・コロナ禍のもとでの営業状況。放デイ事業所の感染症の防止対策で二酸化炭素濃度計で計測して1000ppmを超えたら換気としている。

・WISCについて。WISCはどこで誰が使っているのか。子どもの客観的な評価として放デイでのガイドブックに書いてある。

・相談支援事業所、相談員との関わり方について。  
・進路相談。中学校高学年になって進路に悩む。

### 3. 事務局より

○ 定例会開催の形式について

対面でやってほしいという声もあるが、オンラインがいいという声も同じぐらい。事務局の準備もハイブリッドでは大変になる。コロナの感染状況もあり放デイ、事業所もスタッフの欠員穴埋めなど調整が難しい。

年に1回リアルでやれるとしたら2月ぐらいか？

と思う。事務局で皆の意見を聞いて事務局のメンバーリストでもアンケートを取りたい。

○ 定例会の運営に関して、担当者も忙しくなり作業に時間の余裕が必要。

事務局としては事前に名簿で把握したい。参加申し込みを定例会開催の連絡があった時点で早めに連絡してほしい。

### 4. 近況報告(紙面の都合で省略)

197回定例会は 1月19日(木) 9:30~11:30(全面リモートで実施予定)

参加申込および問い合わせは、事務局044-455-7468 七川まで